ふれあいバンク

TOWA 東和銀行

2027年3月期第2四半期　決算ダイジェスト

主要計数について

※各計数は、単位未満を切り捨てた値を記載しております。(以下特に注記がなければ同様)

1．預金・貸出金

預金は、前年同期比94億円減少の2兆1,602億円となり、貸出金は、同380億円増加の1兆6,661億円となりました。

(億円)

	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	前年同期比
預金	21,696	21,602	△94
貸出金	16,280	16,661	380

2．損益状況（上段：単体、下段：連結）

単体のコア業務純益は前年同期比13億円増加の46億円、経常利益は同5億円減少の24億円となり、中間純利益は同6億円増加の37億円となりました。

(億円)

	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	前年同期比
コア業務純益 （※1）	32 －	46 －	13 －
経常利益	30 30	24 23	△5 △6
中間純利益 （※2）	31 31	37 37	6 5

（※1）コア業務純益は単体のみ。
（※2）連結は「親会社株主に帰属する中間純利益」

3．自己資本比率（上段：単体、下段：連結）

単体の自己資本比率は、前年同期比2.64ポイント低下の7.13％となり、連結は、同2.59ポイント低下の7.23％となりました。

(%)

	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	前年同期比
自己資本比率	9.77 9.82	7.13 7.23	△2.64 △2.59

参考：2026年3月期の自己資本比率…　（単体）6.68％　（連結）6.77％

4．有価証券評価損益

有価証券評価損益は、満期保有目的は前年同期比51億円減少の△87億円、その他有価証券は同172億円増加の△95億円となり、合計で同121億円増加の△182億円となりました。

(億円)

	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	前年同期比
満期保有目的 その他有価証券 合計	△35 △267 △303	△87 △95 △182	△51 172 121

5．金融再生法開示債権比率

金融再生法開示債権比率は、前年同期比0.02ポイント減少の2.36％となりました。

(%)

	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	前年同期比
金融再生法開示 債権比率	2.38％	2.36％	△0.02％

決算概要（単体）

※各計数は、単位未満を切り捨てた値を記載しております。(以下特に注記がなければ同様)

（百万円）

	2025/9	2026/9	増減額
業務粗利益	13,951	12,820	▲1,131
コア業務粗利益（※）	13,994	15,998	2,003
資金利益	12,712	14,448	1,735
役務取引等利益	1,259	1,523	263
その他業務利益	▲20	▲3,151	▲3,131
国債等債券損益	▲43	▲3,178	▲3,135
経費	10,700	11,308	608
実質業務純益	3,250	1,511	▲1,739
コア業務純益	3,294	4,689	1,395
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	3,294	4,316	1,022
一般貸倒引当金繰入(△)①	141	1,856	1,714
業務純益	3,108	▲345	▲3,453
臨時損益	▲105	2,762	2,868
不良債権処理額(△)②	902	6,802	5,899
株式等関係損益	22	8,387	8,364
その他臨時損益	774	1,177	403
経常利益	3,002	2,416	▲586
特別損益	1,402	869	▲533
中間純利益	3,116	3,718	601
信用コスト(△)(①＋②)	1,044	8,658	7,614

※国債等関係損益を除く

【主なポイント】

●コア業務純益

・資金利益の増加により増益

貸出金の増加や利回り上昇により貸出金利息が増加したことに加え、ポートフォリオの入替により有価証券利息配当金が増加し、資金利益が前年同期比17億35百万円増加したこと等から、コア業務純益は同13億95百万円増加の46億89百万円となりました。

●中間純利益

・コア業務純益の増加と株式等関係損益の増加

本業の収益力を示すコア業務純益が順調に増加したことに加え、株式等関係損益の増加等により信用コストの増加をカバーできたこと等から、中間純利益は、前年同期比6億1百万円増加の37億18百万円となりました。

●信用コスト

・不良債権処理額の増加による予想損失率の上昇

不良債権処理額が同58億99百万円増加したことに加え、貸倒引当率が上昇したこと等により信用コストは同76億14百万円増加の86億58百万円となりました。

参考：連結

（百万円）

	2025/9	2026/9	増減額
経常利益	3,016	**2,390**	▲626
親会社株主に帰属する中間純利益	3,127	**3,702**	575

資金利益の増減要因

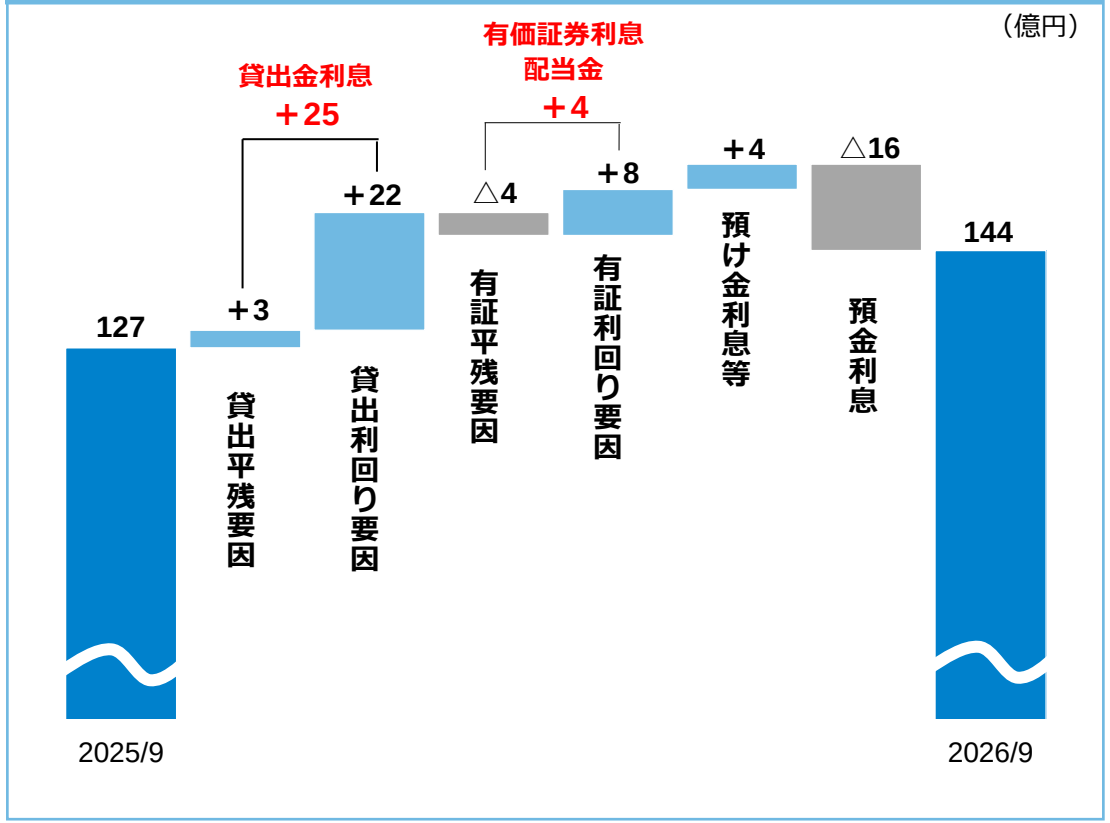
※各計数は、単位未満を切り捨てた値を記載しております。(以下特に注記がなければ同様)

■ 資金利益は、貸出金の増加や利回りの上昇により、貸出金利息が前年同期比25億円増加し、ポートフォリオの入替などにより有価証券利息配当金が同4億円増加したことなどから、同17億円増加の144億円となりました。

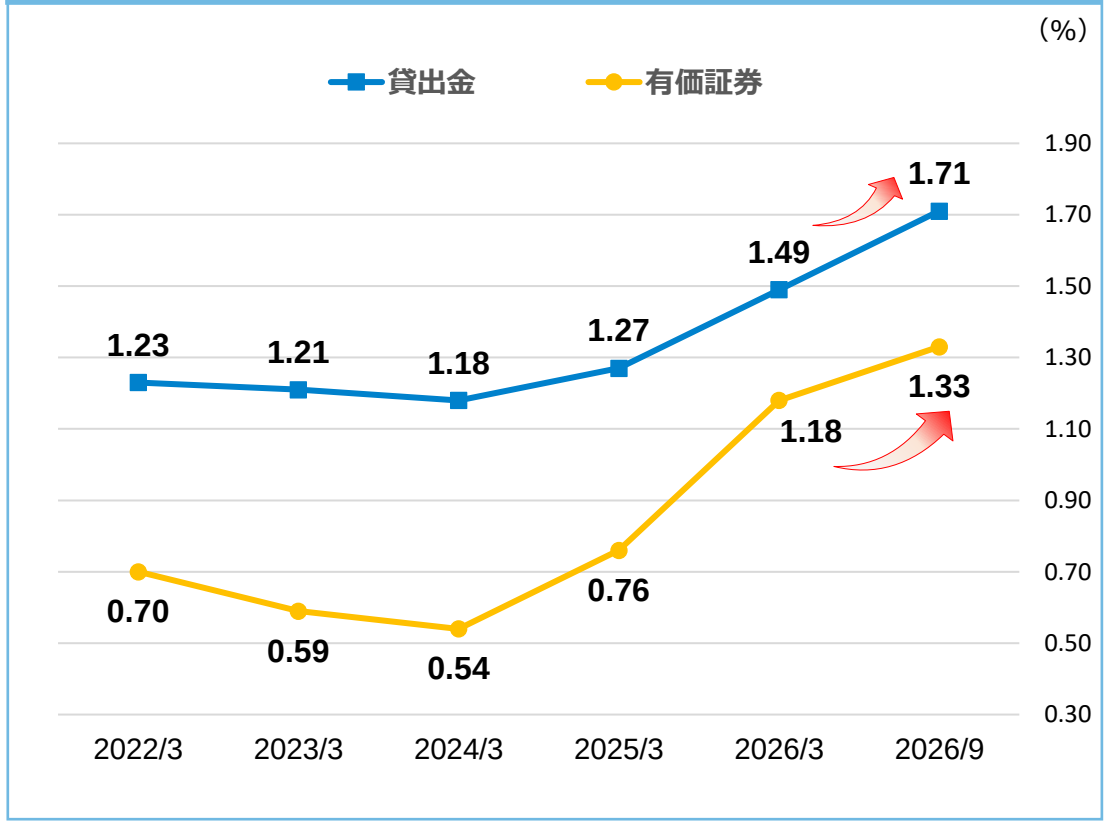
■ 市場金利連動型貸出の推進などにより、政策金利の引上げが貸出金利回りの上昇に繋がりました。

■ 有価証券ポートフォリオ入替の効果などにより、有価証券利回りも大幅に上昇いたしました。

資金利益の増減要因



貸出金・有価証券利回りの推移



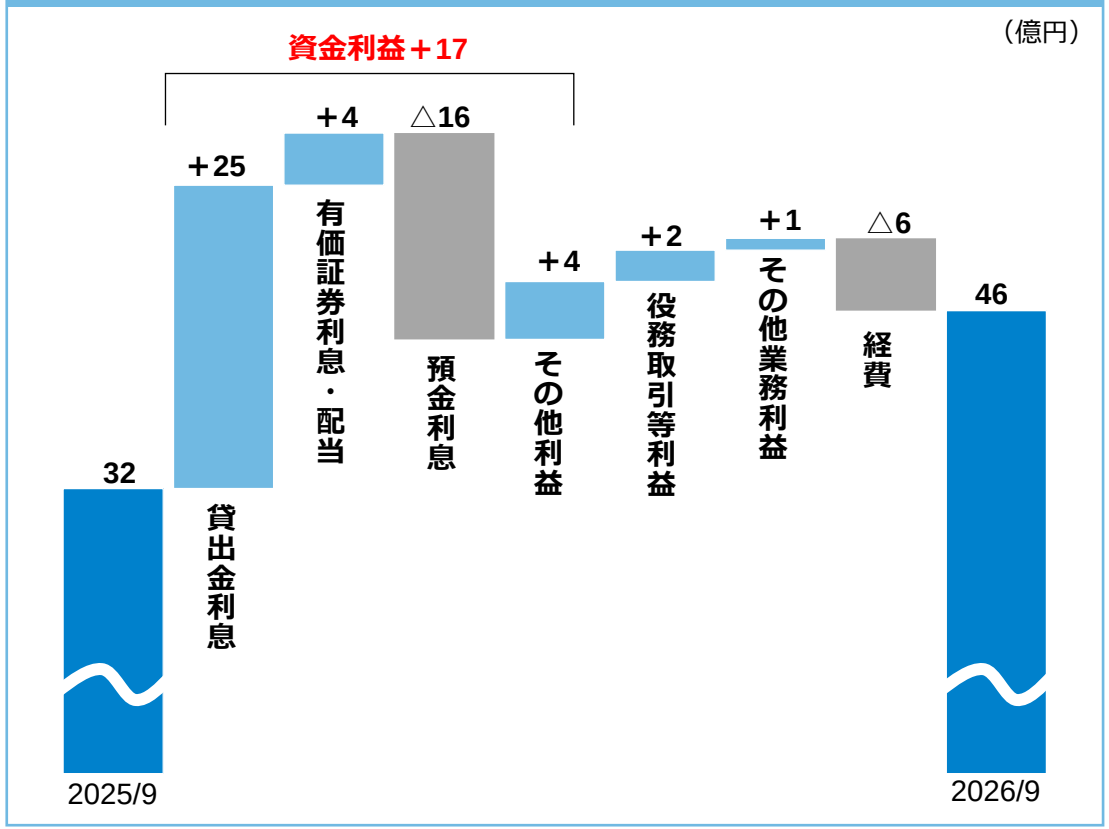
コア業務純益の増減要因

※各計数は、単位未満を切り捨てた値を記載しております。(以下特に注記がなければ同様)

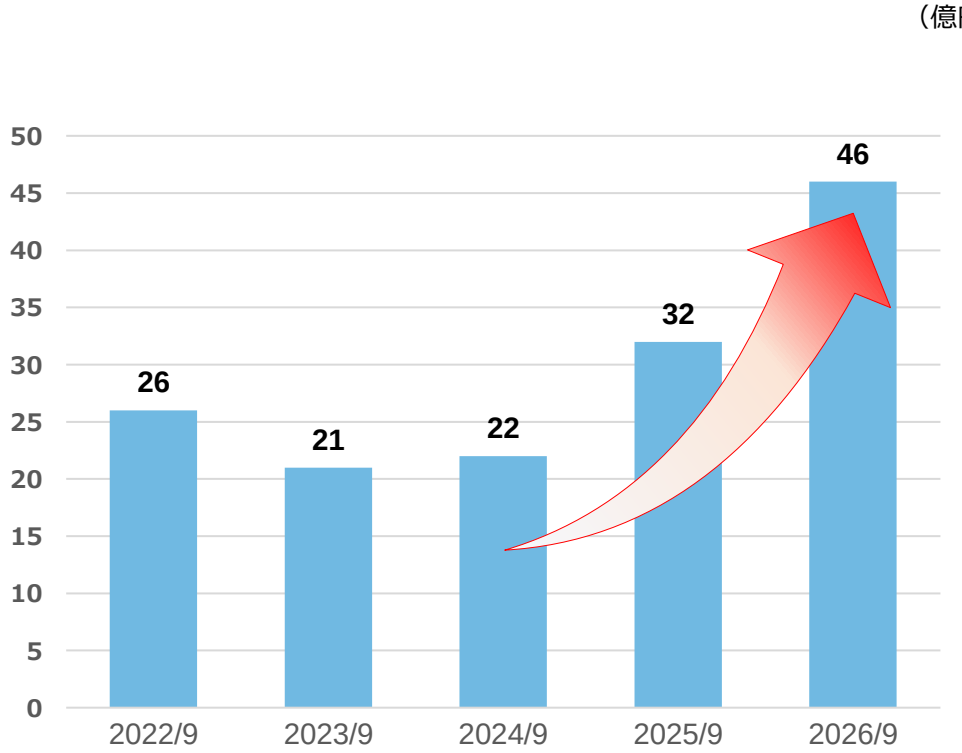
■ 本業の収益力を示すコア業務純益は、人件費等の経費は増加したものの、資金利益や役務取引等利益が順調に増加し、前年同期比13億円増加の46億円となりました。

■ 国内市場金利の上昇に加え、運用サイドのポートフォリオの入れ替えが奏功し、第2四半期ベースのコア業務純益は、順調に推移しております。

コア業務純益の増減要因



コア業務純益の状況



有価証券売却の進捗状況と業績予想について

※各計数は、単位未満を切り捨てた値を記載しております。(以下特に注記がなければ同様)

■ 当行は、2026年7月14日に株式会社全東信への非保全債権58億円の損失処理に対して、有価証券売却益55億円を充当することを公表いたしました。

■ 2026年9月末における有価証券の売却状況は、40億円の売却益を計上し、当初計画の7割程度まで進捗しております。

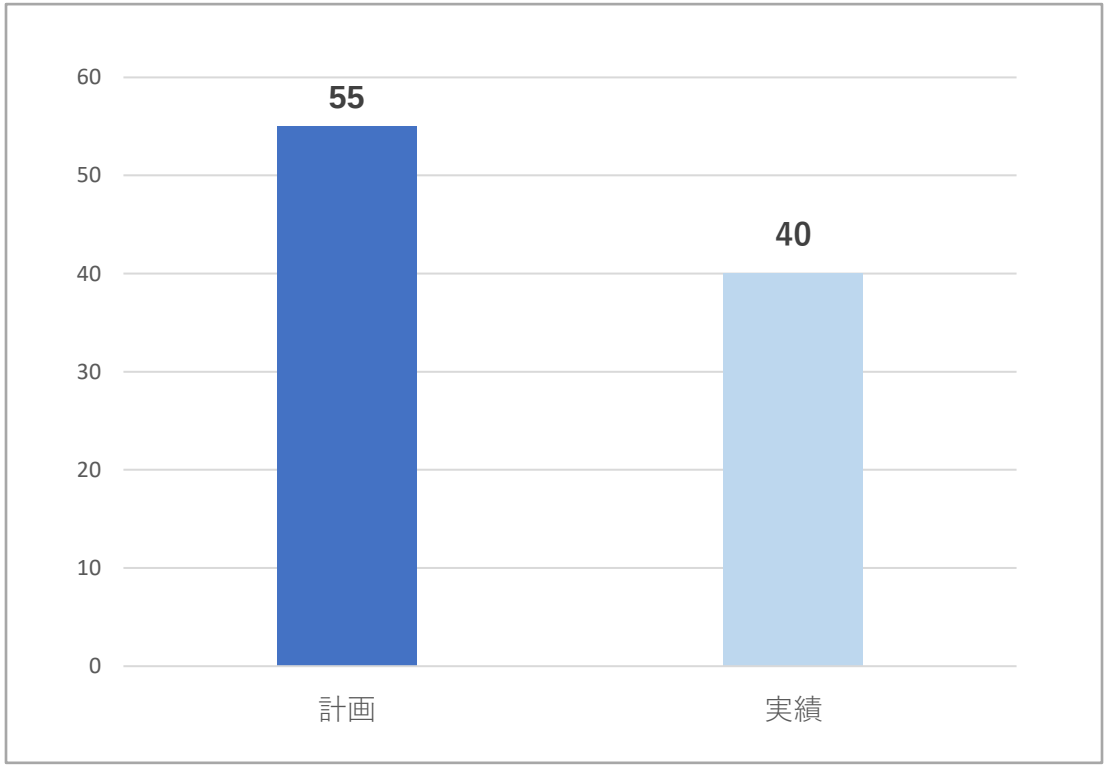
■ 売却対象有価証券の残存分については、今後の収益状況等を踏まえ、適時、適切に判断してまいります。

■ 単体の第2四半期実績は通期業績予想に対し、経常利益は48.3%、当期純利益は67.6%の進捗と順調に推移しております。

■ 2027年3月期通期業績予想は、今後の金融・経済状況等の見通しが不透明であることから、2026 年5月12日の公表数値を据え置いております。

有価証券売却の進捗状況

(億円)



第２四半期実績と通期業績予想

(百万円)

単体	経常利益	当期純利益
第2四半期　当初予想 (11/4修正後予想)	2,500 (2,500)	2,500 (3,710)
実績	2,416	3,718
通期業績予想	5,000	5,500

連結	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
第2四半期　当初予想 (11/4修正後予想)	2,500 (2,500)	2,500 (3,700)
実績	2,390	3,702
通期業績予想	5,000	5,500

ふれあいバンク

TOWA 東和銀行

<お問い合わせ先>

株式会社東和銀行　総合企画部
企画・広報　飯塚
e-mail 91003@mb.towabank.co.jp
Tel 027（230）1502